

第6章 目標設定【データヘルス計画】

1 計画全体の目標

【作成メモ】「1 計画全体の目標」と「2 国・県との共通評価指標」を新たに加え、追加したページとなります。

被保険者が健康を意識する環境の整備を行うことで、被保険者の健康増進につながり、医療費の適正化に資すると考えられ、ひいては健康寿命の延伸が期待できます。そのため、計画全体の目標として、健康寿命(平均自立期間)の延伸を設定します。

指標	目標値	現状値(R4)
被保険者の健康寿命(平均自立期間)	延伸	男性 80.2 女性 84.1

出典:KDB地域の全体像の把握_各年度累計

2 国・県との共通評価指標

被保険者の健康状態や健康課題について、他自治体との比較を可能にし、客観的に把握するため、国・県が示す共通の評価指標について設定します。

指標	目標値	現状値(R4)
特定健康診査受診率の向上(国・県)	60.0%	42.4%
特定保健指導終了率の向上(国・県)	60.0%	15.2%
特定保健指導による特定保健指導の対象者の減少率維持(国)	25.0%	27.4%
HbA1cが8.0%以上の者の割合減少(国)	1.0%	1.3%
※ 高血糖者(HbA1cが6.5%以上の者)の割合減少(県)	8.5%	9.4%
HbA1cが6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合減少(県)	12.5%	13.9%
※ 血圧が保健指導判定値以上の者の割合減少(県)	50.0%	52.0%

【作成メモ】※の共通評価指標は事業2、3、4の「観察事項」として設定していましたが、このページに集約し、一元管理することとしました。

【作成メモ】

下記の波線囲みの「ストラクチャー」が新たに設定した箇所となります。

4 その他

【今後の検討事項】 地域包括ケアに係る取組について

全国的に高齢化が進み、本市も同様の状況のなかで、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される体制である「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けた取組が必要です。

これまで本市においても、介護部門で関係機関等と連携を図りながら取組を進め、さらに75歳以上の方を被保険者とする後期高齢者医療保険においては、高齢者の生活習慣病予防や重症化予防のための保健事業と、フレイル状態にならないための介護予防を一体的に実施しているところですが、

今後は75歳以下の方に対しても、こうした対応策が必要と考えられることから、国保部門としても被保険者の生活習慣病やフレイル予防に着目し、アプローチが可能な前期高齢者を対象に、下記の事項をモニタリングしながら、計画期間中における新たな事業の実施について、検討していきます。

なお、実施に当たっては、必要に応じて関係部門へKDBデータ等を提供するなど、連携・協力を図りながら進めていきます。

ストラクチャー (実施構成)	KDB データなどを活用して事業対象者を洗い出し、関係機関と情報連携を図る。	
観察事項 (モニタリング)	特定健診受診者の前期高齢者のうち、BMIが20以下(低栄養傾向)の者の割合	現状値(R4) 18.2%
	1号被保険者の介護認定率(国保被保険者のみ)	現状値(R4) 14.7%

